

No.20 9月定例会号
平成22年(2010年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
代表質問	4P
個別質問	5P
委員会の動き	10P



家持くん

利根くん

編集 ■ 議会広報編集委員会

発行 ■ 富山県高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

一年の汚れを落とす大仏様 お身ぬぐい

写真提供：高岡市美術作家連盟 写真部



補正予算・条例・意見書など

代表・個別質問に16人が登壇

27議案を可決

9月定例会は10日に開会し、27日に閉会しました。

市長から平成22年度一般会計補正予算をはじめ23議案が、議員から意見書4議案が提出され、すべてを可決・同意し、また、決算の認定2議案を継続審査としました。

今定例会では、代表質問に1会派、個別質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決した主な議案等

条例

■中田コミュニティセンター
厚生年金中田福祉会館を廃止し、新たに地域コミュニティの拠点施設として中田コミュニティセンターを設置するもの。

■市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正
患者が病状に沿った診療科を選択しやすくするため、診療部位をより適切に表す診療科名に変更するもの。

■自転車等駐車場条例の一部改正
「胃腸科」→「消化器内科」
「胃腸科」→「消化器内科」
駐車スペースを確保し、万葉線片原町電停付近の歩行環境及び景観の改善を図るため、片原町地内で新たに自転車駐車場を整備するもの。

その他

■工事請負契約の締結
①(四屋浄化センター)汚泥脱水機改築工事
既設の汚泥脱水機を更新するもの。

②(福岡小学校普通教室棟改築工事)
福岡小学校の校舎を改築するもの。

契約金額1億9845万円
契約金額6億3210万円
※すべて新任

人事

■教育委員会委員
河田 悦子氏
(美幸町二丁目)

■人権擁護委員
吉川 佳子氏 (川原本町)



利便性の向上へ整備が進むJR高岡駅 新水見線ホーム

議決結果一覧

初日提出議案

平成22年度 補正予算

- ◇一般会計……………全会一致で可決
- ◇老人医療事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………全会一致で可決

条例

- ◇市役所支所設置条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇公民館条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇厚生年金中田福祉会館条例の廃止……………全会一致で可決
- ◇手数料条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

- ◇中田コミュニティセンター条例……………全会一致で可決
- ◇市営駐車場条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇自転車等駐車場条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市営住宅条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市立図書館条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇火災予防条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇消防団員等公務災害補償条例の一部改正……………全会一致で可決

その他

- ◇工事請負契約の締結(西干場市営住宅建替工事(5号棟))……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(四屋浄化センター汚泥脱水機改築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(福岡小学校管理棟・特別教室棟改築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(福岡小学校普通教室棟改築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(福岡小学校校舎改築電気設備工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(福岡小学校校舎改築機械設備工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(福岡小学校校舎改築機械設備工事)……………全会一致で可決

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

■新たな経済対策を求める意見書

深刻な不況に苦しむ地域経済・雇用を守るには、即効性のある事業を前倒しで行うなど、景気を刺激する政策を速やかに打ち出すべきである。よって次の政策を実行するよう求める。

- 一 デフレ脱却に向けて政府が毅然たる意志を示し、日本銀行との適切かつ強固な協力体制を構築すること。
- 二 将来性ある農地集積事業、スクールニューデール、環境事業、地域医療などの事



自然空間を学び舎に ビオトープ

業に集中的に投資し、企業による雇用や設備投資を促進すること。

三 平成23年度予算における公共事業費を維持・拡充し、地域経済・雇用の下支えをすること。

■米価下落への緊急対策を求める意見書

米の過剰作付けと消費減退による米価下落により、良質で販売価格の高い県産米コシヒカリ等は、販売価格の下落が大きく、米価の変動部分への交付単価が全国一律に定められた場合、その十分な補償がなされない恐れがある。また、国の交付金の支払時期が、農家の販売収入が減少する中で、早期の支払いが必要である。国は、現下の米価下落の現状を踏まえ、戸別所得補償モデル対策を実施するため、次の事項を求める。

- 一 平成22年産米の販売価格が下落した場合、戸別所得補償モデル対策の実施に必要な予算額の確保と、変動部分も含めて、農家の所得補償を確実に行うこと。
- 二 変動部分の交付単価の算定には、産地及び品種銘柄による販売価格の変動の違いを考慮し、良質米を生産する農家が不利益を被ることのないようにすること。

三 固定部分、変動部分に対する交付金の支払時期をできる限り繰り上げること。

■よりよい歯科医療の実現を求める意見書

歯科医療は、保険対象となる治療の拡大と自己負担の軽減を求める国民の要望に応えられていない状況にある。また、診療報酬が抑制傾向にあることから、歯科医療従事者の労働環境は厳しいものであり、全国では歯科衛生士・歯科技工士養成所の廃校や定員割れが起きるなど、将来の歯科医療の確保が懸念される状況にある。国は安全で普及している歯科技術を保険診療に導入するなど、診療報酬の適切な改善を行い、患者負担を増加させないよう要望する。

■「協同労働の協同組合法（仮称）」の制定を求める意見書

個人が協同で出資し、経営に参加し、共に働くという「協同労働の協同組合」は法人格を有していない。このため、団体として入札・契約ができないことや、社会保障の全負担が労働者個人にかかるなどの問題が事業活動の拡充や働く者の生活の確保を図る上で障害となっている。地域に新たな雇用を創出し、様々な人々が社会に参加する道を開くため、法制化を求める。

◇財産の取得（土地）……………全会一致で可決
◇市道路線の認定……………全会一致で可決

認定《平成21年度決算》

◇平成21年度高岡市民病院事業会計ほか3会計決算（平成21年4月～22年3月）……………全会一致で継続審査
◇平成21年度一般会計・国民健康保険事業会計ほか8特別会計決算（平成21年4月～22年3月）……………全会一致で継続審査

最終日追加提出議案

人 事

◇教育委員会の委員の任命……………全会一致で同意
◇人権擁護委員の推薦……………全会一致で同意

議員提出議案（意見書）

◇新たな経済対策を求める意見書……………全会一致で可決
◇米価下落への緊急対策を求める意見書……………賛成多数で可決
◇よりよい歯科医療の実現を求める意見書……………賛成多数で可決
◇「協同労働の協同組合法（仮称）」の制定を求める意見書……………全会一致で可決

■一般会計補正予算の概要

一般会計（補正額 7億4,935万円）

《主な事業》

除雪対策事業費	1億6,173万円
道路改良事業費	9,020万円
私立保育所耐震化整備事業補助金	8,246万円
雇用対策事業費 （雇用創出人数27人）	4,852万円
商業振興事業費	3,500万円
児童遊園遊具リフレッシュ事業費	2,005万円
「ものづくりと文化財」循環まちづくり事業費	477万円
ソーラービオトープ設置支援事業費	200万円

代表質問

今定例会では、自民党議員会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民党議員会
向 栄一朗

高岡新世紀のまちづくり

問 総合計画第2次基本計画・実施計画策定に向けた取り組みについて問う。

(1)基本構想策定時には想定できなかった国内外の新たな動きや社会経済の目まぐるしい変化、現基本計画の検証結果等の要素を計画策定にどのように反映していくのか。

(2)計画の策定に当たり、どのようなスタンスで臨み、高岡市としての特徴をどのように出していくのか。また、必要となる財源確保の方策は。

市長 (1)第2次基本計画の策定に当たっては、この3年間の施策事業の進捗状況を踏まえ、現計画の検証を行うこととしており、時代の変化に対しスピード感を持ち、今後の高岡の方向性を明確にした戦略的な方針をもって取り組む必要がある。こうしたことか

ら、市としては、十分に議論するため、早めに総合計画審議会を立ち上げ、策定に取り組むこととした。今後、審議をする中で早期の取り組みが必要な事業があれば、計画期間前の平成23年度にも前倒しで実施していきたい。

(2)本市を取り巻く状況が大きく変化する中、次期計画期間の24年度から5年間は、26年度に北陸新幹線の開業が実現するなど、高岡新世紀のまちづくりを左右する極めて重要な時期になる。このため、新たな計画は、今後のまちづくりの具体的な取り組みを見据えながら本市が将来進むべき道をしっかりと示していく必要がある。また、策定に当たっては、市民の目線で考え、市民が最大限幸せになるもの

としたい。そのため、ものづくり・歴史・文化といった高岡市の持つ都市の魅力に一層磨きをかけ、ポテンシャルを最大限に引き出し、市民や各地域、企業のまちづくりに向けたエネルギーを結集していきたい。このことにより、環日本海時代における高岡市の

可能性や将来の方向性を示し、市民が夢や希望をもてるような計画としていきたい。そして、「5つのまちプロジェクト」の施策等を基本構想に照らして具体の施策、事業として取り込んでいきたい。一方、これらの実現のため、産業を活性化させ、税収を上げるなど自主財源の確保に努めるとともに、地方税財源の確保を国に強く求めたい。さらに、事務事業の見直しや職員数の削減など、行財政改革をより一層徹底し、事業に必要な財源の確保に努めたい。

飛越能86万人の玄関口

問 北陸新幹線新駅とその周辺整備について問う。

(1)「新高岡駅利用都市サミット」の開催を受けて、市の考える目指すべき新高岡駅の具体的な将来像は。

(2)富山空港の駐車場を参考にして、新駅舎の近隣には有料駐車場と大規模な無料駐車場を併設してはどうか。

市長 (1)市民のみならず、飛越能地域の人々にも近くて便



飛越能地域が新高岡駅の将来像を考える

分に検討したい。
都市整備部長 (2)新駅周辺の駐車場整備は、民間駐車場の設置希望の有無を確認するとともに、市が整備する場合の施設規模、料金形態等について現在、調査、検討を進めている。有料・無料併設型の駐車場整備も含め、新駅利用者が利用しやすい駐車場環境を確保していきたい。

交通結節点機能の向上を

問 高岡駅周辺整備の中では、駅前までの万葉線の近接化が予定されているが、新幹線開業後に第三セクター化される在来線と万葉線との接続や、将来的な万葉線の延伸等さらなる利便性向上の考え方は。

市長 万葉線の在来線への乗り入れには、技術的な課題、安全面での課題等が新幹線開業に向けた公共交通ワークキングの報告で指摘された。しかし、交通結節点の機能向上は、市民生活に利便性、快適性をもたらすことから、あらゆる可能性を排除せず、実現の可能性を探っていきたい。今後の技術革新や利用動向、駅利用者をはじめとした市民の声を注視しながら、引き続き将来的な利便性の向上を図れるよう努めたい。

* 1 事務事業効果検証：高岡市の次長級職員等で構成する事務事業効果検証チームにより、事務事業の効果を検証し、見直し方針を提案されたもの。今後、議会や市民の意見を参考にしながら、市としての方針を固めていくこととしている。

個別質問

今定例会では、15人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中山 欣一
民主クラブ

財政の健全化

問 決算状況から、平成22年度の市税収入見込みは。
総務部長 22年度の市税収入見込み額は、現時点で試算してみると、21年度に比べ、約8億円減の253億円程度を見込んでいます。

高齢者福祉

問 行政・民間・関係機関との連携のもと、高齢者を見守るための組織を創設しては。
市長 現在、地域包括支援センターが中核となり、民生委員や自治会等の協力により、高齢者の孤立化を防止する見守りや生活面でのサポートを実施している。また、平成22年度から、徘徊高齢者の早期発見・早期対応を行うための「徘徊SOS緊急ダイヤルシステム」の構築等、認知症高齢者を地域の中で支え、見守っていく体制づくりに取り組ん

でいる。今後も、行政・地域・関係機関が連携した地域福祉ネットワークづくりを目指したい。

協働のあり方

問 協働を進める市民会議の設置と、定期的な開催を目指しては。
生活環境部長 これまでも地域課題の解決や魅力あるまちづくりについて、一緒に考える講座などを開催し、市民との意見交換に努めてきたところである。市民会議の定期的な開催には、どのような内容、手法が効果的か、関係団体の意見も聞きながら、その必要性とともに検討したい。



川島 国
自民党議員会

中山間地域の活性化

問 とやま・ふくおか家族旅行村について問う。
市長 本市では「里山」を守

(1)施設の目的と課題は。
(2)運営体制を見直すことは重要だが、それ以上に、将来の

見通し、ビジョンを示すことが大切である。現時点での将来像は。

福岡総合行政センター所長 (1)当施設は観光事業の振興と地域文化の高揚を図ることを目的として設置された。しかしながら、利用客の減少による経営状況の悪化や施設の老朽化のため、原点に立ち返った検討が必要と考えている。
高田副市長 (2)厳しい経営状況や公益法人制度改革の対応への問題、「事務事業効果検証」での指摘もあり、原点に立ち返った検討が必要と考えている。将来的な施設のあり方については、今後、多面から意見を聞き、慎重に検討していきたい。

持続可能な「山」のあり方

問 環境共生のまちづくりを掲げる中で、今後どのような考えで山村行政を進めていくのか。
市長 本市では「里山」を守

ることも市政の根幹であるとの認識のもと、多様な生態系や地域の特性に応じた森づくりを継続することはもちろん、



狩野 安郎
自民党議員会

ものづくりのまち高岡

問 伝統工芸技術の継承について問う。
(1)将来に向けた決意は。
(2)川崎市に建設中の藤子・F・不二雄ミュージアムの一面に、ドラえもんのブロンズ像を設置しては。

市長 (1)高岡の技と文化を、



市民の協力による森づくり

次代につなぐため、積極的に伝統工芸産業の振興に努めていきたい。また産学官連携による人材育成事業を進めるなど、伝統工芸関連企業や従事する人のチャレンジ精神を呼び覚ましなが、しっかりと支援・応援していきたい。
産業振興部長 (2)実現すれば、高岡市をPRする上でも、大変有益と考える。まずは、ミュージアムを建設する川崎市に相談したい。

高岡をアピール

問 スポ・レク祭開催に向けての本市の観光や地場産品などの魅力発信の具体的な取り組みと、経済効果の見込みは。
教育長 大会期間中に、富山運河環水公園周辺で、本市の観光PRや地場産品の紹介・販売を行う予定である。また、参加者のための交通・観光案内冊子に、市の観光名所を取り入れた観光オプショナルツアーのコース設定を盛り込んでもらった。本市開催の4種目の会場では、カニなど地場産食材を使った「ふるまい鍋」の提供のほか、地場産品の展示・販売等で、高岡を満喫してもらいたいと考えている。経済効果は、選手等の宿泊、飲食、土産品や観光などで、1億円以上を見込んでいる。



金平 直巳
日本共産党

地域経済の振興対策

問 国に対して、内需拡大のための総合的対策、緊急雇用対策の要請を。また、市独自の緊急雇用対策の強化を。

市長 全国市長会では、平成22年9月6日に厳しい雇用情勢等を打破するため、「効果的で迅速な経済雇用対策の実施に関する緊急要請」を行ったところである。今後、地域経済の実情に応じた措置がとられるよう、全国市長会等を通じて要請していきたい。雇用対策は、今後とも国の雇用対策予算を活用し、適切に対応していきたい。

指定管理者制度の導入

問 高岡斎場の供用開始時のトラブルの再発防止の観点から、行政の管理、監督責任の貫徹がどう確保されるのか。

生活環境部長 公の施設の最終的な管理、監督責任は市にあることから、委託業務遂行上トラブルが発生した場合は、速やかに市に報告し対応するように明文化し、指示を徹底している。今後の管理運営体制

は、管理上の責任分担を明確にしながら、どのような管理体制が望ましいか検討したい。

遺跡調査談合問題

問 談合再発防止に向けた対策と決意は。

林副市長 入札などの手続きの改善や発注業務にかかる職員の行動指針の作成など、綱紀の保持に努めるとともに、今回の検証結果報告の中で示した改善策を実現すべく、職員一丸となって全力で取り組んでいきたい。



吉田 健太郎
公明党

ゲリラ豪雨対策

問 過去に浸水被害が大きかった地域への対策及びその進捗状況は。また、対策後の被害の有無は。

都市整備部長 これまでの台風や集中豪雨により浸水被害の大きかった伏木矢田・能町・守山地区にて準用河川改修事業等を実施し、対策に取り組んでいる。事業が完了した地区では、その後、浸水被害はなく、事業効果があつたと考えている。事業が実施中の守山地区は、引き続き整備

促進に努めたい。

高岡のPR戦略

問 全国的に高岡を印象付ける観光戦略として「高岡といえばこれ」といえるようなPRをすべきでは。

市長 本市には多岐にわたる魅力的な観光資源が存在するため、まち全体をイメージしやすい表現やテーマを持つことが重要である。北陸新幹線開業を見据えて、本市の特色である歴史的建造物や伝統文化、工芸技術を活かし、それらを存分にアピールできるように、市民の皆さんとともに観光振興に取り組んでいきたい。



高岡のPR戦略に一役買っている利長くん

委託業務への電子入札導入

問 委託業務における電子入

札の導入時期は。また、どのような形で実施するのか。

総務部長 平成22年9月から予定価格が500万円を超える建設コンサルタント業務で実施する予定である。また、埋蔵文化財関係の業務委託については、23年1月から予定価格が50万円を超える入札の実施を目指している。



梅田 信一
自民党議員会

災害対策の充実

問 孤立集落資機材緊急整備事業補助金制度は、十分に機能し活用されているのか。

総務部長 市内では災害時孤立集落に9自治会が該当する。補助内容は自治会単位で、情報収集伝達手段である衛星携帯電話などの災害孤立時に必要となる資機材の購入費用を対象としている。平成21年度の実績では、2自治会が電源確保のための発電機等を購入している。引き続き、制度を活用してもらうよう該当自治会への周知に努めている。

心の健康保持・増進へ

問 自殺予防対策の推進について問う。

(1)東京都足立区の広報紙特集号を通じて自殺防止の啓発などの取り組みに対する見解は。
(2)同区の自殺対策戦略会議の設置など先進的な取り組みを参考に、「こころの健康づくり」を充実しては。

福祉保健部長 (1)広報等による自殺防止の啓発は、大変有効であると認識している。平成22年9月号の「市民と市政」に、自殺予防週間に併せて、特集記事を掲載したところである。今後もパンフレットや「市民と市政」を活用し、自殺防止の啓発を図りたい。

市長 (2)市も21年度から「高岡市地域自殺対策緊急強化事業」に取り組んでいる。今後は、足立区の事例も参考に、県や関係機関との連携を強化し、人材育成や相談支援体制の充実を図り、「心の健康づくり」を通じて、自殺予防対策の充実を努めたい。



上田 武
社民党議員団

学校の耐震工事

問 耐震工事中の小学校における環境上の問題点と改善策は。

教育長 耐震工事中の小学校

は、工事のため、教室の風通しが悪くなり室温が高くなっている場合があり、暑さ対策が必要となっている。扇風機や氷柱を利用し、教室ごとに冷やしたりするなど、暑さ対策に知恵を絞りながら対応している。また、現在工事中の小学校に冷水機を1台ずつ設置したところである。今後とも子どもたちの学校生活に影響を来さないよう学校と連携しながら対応したい。

新日軽北陸高岡工場の閉鎖

問 新日軽北陸高岡工場の閉鎖と雇用問題について問う。
(1)閉鎖をしないよう働き掛けは。
(2)閉鎖による本市に与える影響は。また、対策は。

市長 (1)親会社である新日軽(株)に、高岡工場の再考を促すとともに、地域経済の再生・活性化について責任ある対応をしてもらうよう強く求めたところである。さらに、(株)新日軽北陸にも同様の申し入れを行った。今後も引き続き要望していきたい。

産業振興部長 (2)高岡工場は、素材生産工場であるため協力工場はほとんどないと聞いており、現時点では、地域経済の影響は最小限にとどまるものと考えている。市としては、

国、県等の関係機関と連携を密にし、離職者に対する雇用対策などに最大限努めたい。



永森 茂
自民党議員会

水道施設の耐震化

問 水道ビジョンの中で、平成23年度末までの石綿セメント管から耐震性に優れた管路への全量更新が目標となっているが、計画どおり実施できるのか。また、計画に変更のある場合の今後の予定は。

水道局長 本市内の石綿セメント管は3年度から敷設替えに努め、残り約1kmとなっている。残っている大坪町地区では、国の電線共同溝工事に併せて更新する計画であったが、現在中断している状況である。今後、国や関係機関に対し計画の前倒しや早期着工を求めたい。

コミュニティバスの今後

問 各地区からもコミュニティバス運行の要望があると思われるが、今後の考え方は。
市長 最近では小勢地区にてNPO法人による地域バスの運行が始まっている。今後は要望のある地域に制度概要を

説明するなど、地域ニーズにあったバス運行のあり方についての協議を進めていきたい。

利用増加に向けた工夫を

問 レンタサイクルの受付場所や設置場所が分かりにくいと思われるが、当局の認識は。

産業振興部長 JR高岡駅北口での案内表示の設置には、一定の成果があったと考えているが、さらに分かりやすくなるよう案内板の増設も検討されている。他のレンタルステーションも表示の改良に向けて協議を進めており、早ければ平成22年10月にも新しい案内板が設置される予定である。



酒井 立志
自民党議員会

いざという時に備えて

問 地震防災マップと洪水ハザードマップを活用して小中学校の防災教育を推進すべきだが、現況と今後の対応は。
教育長 各学校では、学校安全計画などを作り、災害時に、適切に行動できるよう指導している。今後は、地震防災マップなどを活用して、児童生徒が学校で学んだことが万



災害時に適切な行動を

一の際に活かされるよう、関係機関と連携を図り、より充実した防災教育が進められるように、学校へ働き掛けたい。

拠点港の選定に向けて

問 産学官民一体で日本海拠点港誘致活動の啓発を強く促進すべきでは。

建設部長 伏木富山港機能向上協議会の提案に基づき、港湾管理者である県とともに、伏木港海運振興会や伏木外港利用促進協議会等と協力し、港湾の重要性を市民に認識してもらえよう啓発等を行っていききたい。

外国人観光客の誘致へ

問 大連市での中国人観光客誘致に向けた観光説明会で、

中国の旅行代理店から出た要望への対応策と会議の成果は。

市長 本市や越中・飛騨観光圏と東京、大阪などを組み合わせた旅行コースや、修学旅行・学校交流のメニューを開発、提案したい。また、中国語のホームページの活用など、大連へPRの強化を努めていきたい。今回の説明会で、交流の糸口が見出され、大連市から情報交換したい旨の申出を受けており、十分な成果があったものと確信している。



樋詰 和子
公明党

高橋市政1年目の総括

問 「ポスト400年」のまちづくりの中で、高岡再生の手応えとセールスポイントは。
市長 市内全域で開催したわがまちトークでの直接対話をはじめ、様々な機会を通じて市民の声を聞きながら市民一人ひとりの幸せを実現するため、市民の目線に立った市政の推進に取り組んできた。現在、総合計画第2次基本計画の策定に向けて作業を進めており、「元氣なふるさと高岡」の道筋を明確に示す計画にしたいと考えている。

事務事業効果検証

問 校下地区敬老会補助金の存続が必要では。

福祉保健部長 敬老会は、高齢者の健康長寿を祝い、敬老の思いを込めて開催され、これまで多くの高齢者に喜んでもらっている。ただ、校下地区ごとに事業の対象者や助成方法が異なっている実態もあり、公平性や事業効果の観点から課題も生じている。今後、敬老事業としての効果や公平性等を勘案し、また、事業運営に携わる皆さん、議会や市民の意見を聞きながら、検討していきたい。

将来の健康を守る施策

問 子宮頸がんワクチン接種に対する助成制度の創設を。



ネット犯罪への対策を

福祉保健部長 子宮頸がんワクチン接種の助成は、国の厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会の「ワクチン評価に関する小委員会」における検討結果や他自治体の動向を注視し、慎重に検討したい。



曾田 康司
自民党議員会

子どものネット利用

問 子どもたちがネット犯罪などに巻き込まれないようにするために、市として保護者や子どもたちに積極的に対策を講じるべきと考えるが、現状と今後の対応策は。

教育長 平成22年度の1学期には、市内の3中学校で県のIT講師派遣事業を活用し、児童生徒や教職員、保護者等を対象に研修を行い、安全意識の向上などを図っている。さらに、県ではネットパトロールが実施され、ネット被害やネットいじめの防止に努めている。市としてはネットトラブルの態様、形式が常に変化し、複雑化している現状を踏まえ、教職員はもとより、児童生徒、保護者に対して適切な情報提供ができるよう努めたい。

カラス被害への取り組み

問 カラス被害に対する街中の苦情や農作物被害防止への対策として、積極的に追い払いや捕獲をすべきと考えるが、現在までの取り組み状況や今後の方針は。

生活環境部長 対策をより効果的に実施するため「カラス対策庁内連絡会議」を設置し、体制を整備した。市は①折りたたみ式・移動式ごみ集積箱の普及、②ねぐらとなつている古城公園に3カ所の捕獲小屋を設置、③農作物が餌とならないよう、防鳥ネットの活用や収穫残さの回収の指導、④電力会社等へ電線等にカラスが止まりにくい仕掛けの設置依頼などの対策に取り組み、被害減少に努めたい。



島村 進
社民党議員団

十分な実態把握を

問 全事業総点検プロジェクトについて問う。

(1)実施するに至った経緯とその目的及び目標は。
(2)外部の識者等を交えず、公開のプロセスを取らなかったのは。

経営企画部長 (1)特に財政状況が厳しい平成21～24年度に取り組み「緊急・集中財政対策」を着実に実行していくため、プロジェクトを実施した。目的は、事業費の抑制や経常的経費の削減とともに、市の施策全体を体系的・総合的な観点で点検しながら、必要な施策を着実に進めていくことである。これにより厳しい財政状況下でも持続可能な財政運営を目指していきたい。

(2)行政として市自らの目で、市の施策全体を見渡した上で、全事業を原点に立ち返り点検しようという考え方で取り組んだ。また、取り組みの経過は、一定の段階ごとに議会へ報告し、議論してもらい、市民にも広く公表し、様々な意見を聞きながら進めたい。

新幹線開業後の交通体系は

問 並行在来線・公共交通体系整備の検討委員会を早急に立ち上げ、中・長期的な計画を策定すべきでは。

市長 並行在来線の運行形態の検討状況や城端・氷見線活性化推進協議会の検討状況を勘案し、新幹線開業に合わせ、交通事業者を含むワーキングチームで交通体系のあり方を整理し、それを踏まえて、計画を検討していきたい。



金森 一郎
自民党議員会

高岡らしいまちづくり

問 高岡市のまちづくりで進むべき方向について問う。

(1)富山市の公共交通機関は「お団子と串」という概念のもと、まちの整備が進められているが、感想は。

(2)中心市街地活性化基本計画終了後も見据えた、まちづくりの計画策定に当たり、分かりやすい目標と具体的な案をつくるべきと考えるが、見解は。

生活環境部長

(1)富山市の言う「お団子と串」のまちづくりは、合併前の旧市町村の中心部を整備し、それぞれの中心部を拠点として、公共交通で結ぶというものである。本市は、市域が広大で多数の都市の拠点が分散している富山市とは、都市構造上必ずしも一緒ではないが、その概念は素晴らしいものと評価しており、中心市街地活性化策の一つとして、参考とすべき点があると考えている。

産業振興部長 (2)基本計画に基づいた事業効果の検証など総合的なフォローアップを行

うとともに、高岡市中心市街地活性化協議会、関係団体、市民の皆さんと協議を進め、より分かりやすく高岡らしい次期基本計画とも言えるべきものを策定したいと考えている。

高岡のイメージアップ

問 「高岡井」と「高岡コロッケ」のタイアップの企画を打ち出している。

産業振興部長 コロッケと井のタイアップ企画については、アイデアの一つとして検討したいと考えている。



南部 周三
日本共産党

米価暴落への対応を

問 米価暴落から農家・消費者を守る緊急対策を国に求めるべきでは。

産業振興部長 国の戸別所得補償モデル対策が農業者の経営安定につながるよう、全国市長会などを通して、国へ要望しているところである。

事務事業の見直し

問 検証チームによる事務事業効果検証結果について問う。(1)自然休養村等が「廃止を含めて検討」に分類されたが、

環境基本計画の中でのグリーン・ツーリズムとの整合性は。(2)校下敬老会への補助金や浴場券の配布を「廃止を含めて検討」に分類した理由は。

経営企画部長 (1)近年、施設がグリーン・ツーリズムの事業目的を十分に果たしていないことや、利用者数減少による経営内容の悪化など運営に多くの課題が顕在化している。

また、公益事業の割合が低く、公益法人への移行が厳しい状況である。こうした状況を踏まえ、検証作業の中で、平成25年11月末に迫った公益法人制度改革の移行期限までに抜本的にあり方を見直す必要があるとの意見となり「廃止を含めて検討」となった。

(2)校下敬老会への補助金については、現在の一律補助方式を廃止して地域の実情に応じた敬老事業のあり方を再検討する必要があるとされたためである。浴場券の配布については、地域間で銭湯の配置状況が異なり利用できない地区があるなど公平性に欠けるとされたためである。



高畠 義一
自民党議員会

環境対策の推進を

問 環境問題は国民全体で取り組むべき課題であるが、省エネに対する本市の考え方を

今後の進め方は。
市長 環境家計簿による家庭での電気やガス等の使用量削減や割りばし・廃てんぶら油



電気自動車でエコタウン

の回収資源化などに取り組むことで、市民の環境意識が高まってきた。市民や事業者が一体となって、地域ぐるみの取り組みを広げ、「環境共生のまち 高岡」の実現を目指したいと考えている。今後は、環境基本計画に基づき、公共施設や住宅への太陽光発電システムの普及のほか、福岡エリアでのエコモデル地区の調査研究で、市民による環境のまちづくりの実践などに取り組んでいくこととしている。

スポーツ施設の機能充実

問 西部総合公園の球場敷地内には多目的な雨天冬季施設の併設が望ましいが、考え方は。

教育長 費用や敷地面積などの制約があるため、難しい部分もあり、研究課題としたい。

健康で明るい施設に

問 老人福祉センターの名称を親しみの持てる名称に変更してはと考えるが、見解は。また、市民に愛称を広く公募しては。

福祉保健部長 名称については、変更してはどうかという声もあり、今後、愛称の募集も含め、各センターの運営委員会や、地域の高齢者、諸団体等と協議していきたい。

議会日誌

6月定例会後～9月定例会前

6月22日	議会広報編集委員会
7月13日	議会広報編集委員会
14日	港湾対策特別委員会
21日	議員説明会
22日	経済消防常任委員会
23日	建設水道常任委員会
28日	総務文教常任委員会
29日	民生病院常任委員会
8月 9日	議員説明会
10日～12日	総務文教常任委員会行政視察

9月定例会

9月 1日	議員説明会
2日	議会運営委員会 代表者会議
3日	新幹線・公共交通対策特別委員会
6日	正副常任委員長会議
9日	議員説明会
10日	議員協議会 本会議（提案理由説明）
14日	本会議（代表質問）
16日	議会運営委員会 本会議（個別質問）
17日	本会議（個別質問） 水道病院決算特別委員会 決算特別委員会
21日	代表者会議 民生病院常任委員会 経済消防常任委員会
22日	議会運営委員会 建設水道常任委員会 総務文教常任委員会
27日	委員長会議 議会運営委員会 議員協議会 本会議（議案など議決）

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆総合計画策定事業費として約86万円が計上されているが、どのような方にどのようなアドバースを受けるのか。

○民生病院常任委員会

◆黒部市はタクシー会社と連携して、デマンド型交通の試験運行を始めたが、本市でもこの事例を参考にし、民間との連携を図り、地域の足を確保すべきと考えるが、見解は。デマンドタクシーは、非常にニーズが高まっており、導入

に向け、従来よりも踏み込んだ検討ができないのか。

◆コミュニティバスについて、市からの助成額を搭乗者数で割ると、1人当たりかなりの金額になる。公共交通全体の検討をしていく中で、例えば、



さらなる交流を目指して（中国・遼陽市との確認書に署名）

市内間の移動で、2000円を超える路線には助成するような方法も加えて検討していくべきと考えるが、見解は。

◆公立・私立保育園の耐震化率について、県内10市のうち耐震化率が最も高い市と最も低い市、本市の県内順位は。

また本市の状況は、平成22年度末で公立保育園63.2%、私立保育園64.3%となる見込みだが、耐震化率100%はいつごろまでに達成するのか。

○経済消防常任委員会

◆子育て支援センターの整備スケジュールは。

◆農地利用集積事業は農地保有合理化事業の廃止に伴うものか。

◆認定中心市街地支援事業の内容は。

◆雇用創出人材育成支援事業について、訓練雇用を認められる期間と満了後の継続雇用の可能性は。

○建設水道常任委員会

◆ウイング・ウイング空中歩廊に段差が生じた原因について調査することだが、その調査内容は。

◆ウイング・ウイング空中歩廊の調査内容で、どのような対策が必要なのか判断できるのか。

◆古城公園の水質調査については、改善策につながる調査をすべきでは。

◆児童遊園遊具リフレッシュ事業の事業内容は。また、この事業により地元からの要望

に対して、どの程度、応えられるのか。

◆市営住宅として整備、管理する雇用促進住宅大滝宿舎の現在の入居世帯数は。

編集後記

例年がない酷暑が続く、なかなか秋の気配を感じられない中、9月定例会が開会しました。新幹線開業を4年後に控え、新しい高岡の玄関口について活発な議論がなされました。また市民の皆様にも、新高岡駅（仮称）の駅舎デザイン案が提示され、広くアンケートを募集します。飛越能86万人が、高岡を起点として広く交流する、未来に夢が持てる高岡づくりへ、どのような駅舎が良いか、新駅周辺の整備をどうすれば良いか、多くの市民の皆様の意見をいただければ幸いです。市議会も、大きな高岡の変化に際し、より良い事業となるよう取り組んでまいります。今後とも、この市議会だよりを通じまして、皆様が関心を持てる市議会を目指していきます。

（川島記）

★編集委員

◎酒井、○高島、吉田、中山、永森、金森、上田、川島、南部、荒木、盤若

（◎委員長 ○副委員長）

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月29日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 7日 11時 議員協議会
13時 本会議
(市長の提案理由説明)
- 9日 9時 議会運営委員会
10時 本会議（個別質問）
- 10日 10時 本会議（個別質問）
総括質問
- 14日 10時 民生病院常任委員会
13時 経済消防常任委員会
- 16日 10時 議会運営委員会
13時 建設水道常任委員会
13時 総務文教常任委員会
- 20日 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
13時 本会議
(議案・意見書など議決)

決算審査の予定

平成21年度決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

- 11月9日 10時 水道病院決算特別委員会
13時 決算特別委員会
- 11日 9時30分 決算特別委員会
10時 水道病院決算特別委員会
- 12日 9時30分 決算特別委員会
10時 水道病院決算特別委員会
現地調査
- 15日 10時 水道病院決算特別委員会
16日 10時 水道病院決算特別委員会
13時 決算特別委員会

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
21年12月	95人	1人
22年 3月	39人	12人
22年 6月	13人	1人
22年 9月	74人	0人